

単元名 たし算と ひき算の ひっ算(1)

配当時間 11 時間

- 単元の目標 (1) (2位数) \pm (2位数) < 100 の筆算と答えの確かめの仕方を理解し、その筆算と答えの確かめができる。
 (2) (2位数) \pm (2位数) < 100 の筆算の仕方を、十進位取り記数法に基づいて考えることができる。
 (3) 加減の筆算について関心を持ち、身近な問題解決に生かそうとする。

標準的な展開例

02040106_001

【準備等】計算棒

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 (2位数) $+$ (2位数) の筆算による計算の仕方を考える。 [p. 48~p. 50] ○ $34 + 12$ の計算を考える。 ○ 単元の学習課題をつかむ。 ★ ひっ算のしかたを考えていこう。</p> <p>○ たし算の筆算の仕方を話し合う。 ○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>2 (2位数) $+$ (2位数) で、一の位が繰り上がる筆算をする。 [p. 51] ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 一のくいをたすと10をこえるひっ算のしかたを考えよう。 ○ $34 + 28$ の筆算の仕方を考える。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>3 (2位数) $+$ (何十), (2位数) $+$ (1位数) など、いろいろな加法の筆算の練習問題に取り組む。 [p. 52] ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ いろいろなたし算のひっ算をしよう。 ○ $19 + 80$ と $57 + 13$ の計算をする。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。 ○ $43 + 5$ と $6 + 27$ の計算をする。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>4 加法の答えの確かめをする。 [p. 53] ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ たされる数とたす数を入れかえて答えをくらべよう。 ○ $55 + 28$ と $28 + 55$ の計算をし、比べる。</p> <p>○ 加法の答えの確かめ方を知る。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>5 練習問題に取り組む。 [p. 54] ○ 「れんしゅう」に取り組む。</p> <p>6 (2位数) $-$ (2位数) で繰り下がりのない筆算をする [p. 55] ○ 本時の学習課題をつかむ。</p>	<p>・ 既習の $34 + 2$ や $34 + 10$ の計算を基に、$34 + 12$ の計算を考えさせる。 ・ 計算棒を位ごとに縦に並べると、見やすく計算しやすいことをつかませる。 ・ 計算の仕方で示しているように、 ① 位を縦にそろえて書く。 ② 一の位から順に計算する。 をしっかりと捉えさせる。 ・ 計算棒を操作し、声に出して言いながら筆算の手順を確かめさせる。 【評】 (2位数) $+$ (2位数) で繰り上がりのない筆算に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 計算棒を操作して、10の束の数え棒を十の位に繰り上げることを理解させてから、筆算の仕方を指導する。 ・ 縦に位をそろえることについて、再度確認する。 ・ 前時の筆算との違いを見付けさせる。 ・ 一の位が $4 + 8 = 12$ になり、10の束が一つできたことを確認する。 ・ 計算棒を操作して、繰り上がりを実感させる</p> <p>・ 十の位に繰り上げた補助数字を必ず書かせるようにする。 ・ 十の位をたす時、繰り上げた1を忘れないよう意識させる。 【評】 (2位数) $+$ (2位数) の筆算に取り組む活動を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ どんな計算でも、位をそろえて縦に書くなどの計算の仕方は変わらないことを押さえる。 ・ (2位数) $+$ (何十) や和が何十になる計算など、空位のある場合も、位をそろえて書いているかを確かめてから計算させる。</p> <p>・ 2位数と1位数のたし算でも、位をそろえて書いているかを確かめてから計算させる。 【評】 いろいろなたし算の筆算に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 加法では数を入れ替えても答えは同じになることに気付かせる。 ・ 同じ計算を2度しなくても答えが確かめられるよさに気付かせる。 ・ 答えの確かめは、同じ計算をするのではなくたされる数とたす数を入れ替えた計算をするを押さえる。 【評】 答えの確かめをする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 個別指導を重点的に行う。 【評】 「れんしゅう」に取り組む活動を通して「知識・技能」を評価する。 ・ 計算棒などを使って、筆算の図と対比させ、順を追って考えさせる。 ・ 加法の筆算を想起させ、計算の仕方を予想さ</p>

<p>★ひき算のひっ算のしかたを考えよう。 ○36－24の筆算の仕方について話し合う。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p> <p>7 (2位数)－(2位数)で繰り下がりのある筆算をする [p. 56] ○本時の学習課題をつかむ。 ★一のくらいがひけないひっ算のしかたを考えよう。</p> <p>○53－26の筆算の仕方を考える。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p> <p>8 差が1位数になる減法や(2位数)－(1位数)など、いろいろな減法の筆算の練習問題に取り組む。 [p. 57] ○本時の学習課題をつかむ。 ★いろいろなひき算のひっ算をしよう。 ○26－21, 35－27に取り組む。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。 ○73－5に取り組む。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p> <p>9 減法の答えの確かめをする。 [p. 58] ○本時の学習課題をつかむ。 ★答えのたしかめ方を考えよう。 ○81－39の答えの確かめ方について考え、減法の答えの確かめ方を知る。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p> <p>10 練習問題に取り組む。 [p. 59] ○「れんしゅう」に取り組む。</p> <p>11 単元を振り返り、確認問題に取り組む。 [p. 60・p. 61] ○「たしかめよう」に取り組む。</p> <p>○学習の振り返りを書く。</p>	<p>せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算棒を操作し、声に出しながら筆算の手順を確かめさせる。 ・計算の仕方は、加法と同様であることを押さえる。 <ul style="list-style-type: none"> ①位を縦にそろえて書く。 ②一の位から順に計算する。 ・必要に応じて、個別指導を行う。 <p>【評】(2位数)－(2位数)で繰り下がりのない筆算に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算棒を操作して、十の位の数え棒を一の位におろすことを理解させてから、筆算の仕方を指導する。 ・前時の筆算との違いを見付けさせる。 ・10の束をばらばらにすればよいことを確認する。 ・十の位から繰り下げた後の補助数字を必ず書かせるようにする。 <p>【評】(2位数)－(2位数)の筆算に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する</p> <p>・十の位が0になる場合、一番上の位の0は書かないことを知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて個別指導を行う。 ・位をそろえて書いているか確かめてから、計算させる。 ・必要に応じて個別指導を行う。 <p>【評】いろいろなひき算の筆算に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・81, 39, 42の3つの数について考察し、どんな関係があるか考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(答え)＋(ひく数)＝(ひかれる数)になることを確認する。 ・ひき算の答えは、たし算で確かめられるよさに気付かせる。 <p>【評】答えの確かめをする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・個別指導を重点的に行う。</p> <p>【評】「れんしゅう」に取り組む活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <p>・個別指導を通して、単元の学習内容の定着を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価をし、不十分なところは教科書で振り返らせる。 <p>【評】問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たし算とひき算の筆算について分かったことや面白かったこと、もっとやってみいたいことなどを書かせる。
--	---

【 備 考 】
 本単元は、筆算形式について初めて学び、2位数の加法と減法、加法の交換法則を学習する。筆算の指導に当たっては、縦に位をそろえて書くことと下の位から位ごとに計算し、順次上の位に上って計算していくことの2点を中心に指導し、筆算による計算ができるようにする。このためには、10の束、100の束を作ることイメージできるようにしなければならない。筆算の方法を学習するだけでなく、筆算をするよさが分かるようにすることも大切なことである。
 本単元については、プログラミング的思考を扱うこともできる。